今年を飛躍の年に

「必要」な需要は限り
「欲しい」の需要は無限大

西村　彦四郎

2026年の年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

2025年は、経済面での動きの激しい1年でした。日経平均株価は10月に5万円台を記録するなど、企業業績の好調さを反映した動きが見られましたが、我々にはそれは実感できないものでもありました。また、物価高の影響も大きく、食品や日用品の相次ぐ値上げが家計を圧迫しています。各家庭では生活防衛意識の高まりから、消費者の購買行動はより慎重になっています。

インバウンド需要は引き続き堅調に推移し、円安基調は経済を下支えしました。反面、輸入コストの上昇とオーバーツーリズムの影響も無視できません。企業としては一層のバランスを求められる状況です。

海外では、地政学的リスクが依然として高い状態が続きました。日中関係や米中関係の緊張、中東情勢の不安定さに加え、気候変動の経済的影響も顕在化しています。欧米諸国ではインフレ抑制のための金融政策が続き、世界経済の減速懸念が高まりました。今後は、サプライチェーンの多様化や資源価格の変動、為替リスクへの対応が企業経営の重要課題となると考えています。

テクノロジー面では、生成AIの実用化が企業活動に浸透してきました。業務効率化だけでなく、創造的な領域でもAIの活用が進んでいます。AIをはじめとするデジタルテクノロジーをうまく活用していくことが、今最も求められていることのひとつと思います。ただしテクノロジーはあくまでも手段です。何をどうやって解決していくのか。これは私たち自身が考えていかないといけません。現状を大局でとらえ、未来を予測。そして創造し続けていく構想力が重要になってきているのではないでしょうか。

弊社商品のクレパスが2025年に発売100周年を迎えました。長きにわたり皆様にご愛顧頂き、感謝の念に堪えません。メーカーにとってロングセラー商品は非常に重要です。開発当初こそコスト負担は大きいですが、市場に浸透し、使い続けていただくことで大きな利益につながります。

選ばれ続けるには確かな品質と長く使える価値が必要と考えています。メーカーとして流行だけでなく本質的な価値を提供し続けることが重要です。生活者は「必要なので買う」場合と、「欲しいから買う」場合があります。この欲求を的確に捉え、価値のある商品開発に挑戦し続けなければ、決してロングセラー商品は生まれません。特に今の文具において重要なことは、「欲しい」という欲求に応えられる商品を開発していくことではないでしょうか。「必要」な需要には限りがありますが、「欲しい」という需要は無限大です。生活者にこの「欲しい」という気持ちになってもらえるような新しい価値を創っていくことが、新しい需要と市場を作ることにもつながっていくと思います。市場は「在る」ものではなく、「創る」ものであると考えています。

2026年も生活者の方々や、お取引様とのコミュニケーションを一層大切にし、市場の変化を的確に捉え、スピード感を持って対応してまいります。皆様方のご清栄を祈念申し上げますとともに、本年も変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。【株式会社サクラクレパス社長】

新規上場で更に飛躍
変化を新たな成長へ

髙橋　俊泰

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのことと存じ上げます。

昨年は、未だ終わらない値上げラッシュや、当業界も標的とされたサイバー攻撃など、不安の続くニュースが相次ぎました。その一方、株式市場では日経平均株価の史上最高値が更新されたほか、大阪・関西万博が大盛況のうちに閉幕するなど、日本全体が盛り上がるような明るいニュースも世を賑わせました。

弊社は昨年10月に、東京証券取引所スタンダード市場へ新規上場いたしました。これもひとえにこれまでご支援いただきました皆様のご指導とご鞭撻の賜物と、心より感謝申し上げます。上場はゴールではなくあくまでスタートラインとし、今後も企業の社会的責任を果たし、皆様のご期待に添えますよう、社員一同さらなる努力をしてまいる所存です。

弊社の2026年版総合カタログでは、ライオンが凛々しくも優しく咆哮するデザインのアート作品を採用し、激しく変化する時代に立ち向かう想いを表現しています。また、カタログの冒頭では、弊社のサステナビリティに関する取り組みをピックアップしてご紹介しております。いくつかの取り組みのなかでも、ワーカーが心地よく快適に働ける環境づくりについて、オフィス家具では、憩いの場を創出するシンボル的なタワー型テーブル「Fremia（フレミア）」を新発売するほか、好評のワーキングブース「DelicaBooth（デリカブース）type S」に1人用（スタンダード）、2人用、4人用の3モデルを新たに追加掲載いたします。事務用品では、Z世代を中心としたスペースパフォーマンスを重視する世代にも訴求する小型文具シリーズ「pimmy（ピミー）」、お子さまが描いた作品などを収めて飾れる「sumafy（スマフィ）フレームホルダー」などを新発売いたします。弊社の新商品が、皆様の快適な働き方の一助となれば幸いです。

2026年の干支は丙午（ひのえうま）で、情熱や変化を象徴する年になると言われています。情熱を持ったオフィスづくりを通じて、弊社の力強い成長をお見せできる一年になればと思います。

今年も一層のご愛顧、ご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方の益々のご発展とご活躍を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。【株式会社ライオン事務器社長】

大阪支店 支店長
永田正樹
TAKEO paper trading since 1899
株式会社 竹尾　大阪支店
577-0065 東大阪市高井田中1-1-3
TEL:06-6785-2221 FAX:06-6785-2227
竹尾 淀屋橋見本帖
541-0042 大阪市中央区今橋4-1-1 淀屋橋odona 1F
TEL:06-6232-2240 FAX:06-6232-2270
www.takeo.co.jp

大阪紙製品工業会
特別会員一同

HEIWA PAPER
この紙が
幸せな気持ちを
ふくらませる。
平和紙業株式会社
大阪市中央区南船場2-3-23
Tel.06-4967-5010
www.heiwapaper.co.jp
常務取締役 大阪本店長 矢野恵一
ISO14001:2015審査登録

OVOL
日本紙パルプ商事株式会社
常務執行役員 関西支社支社長 城谷　誠
大阪市中央区瓦町1－6－10
☎06（6203）2351番(代表)

100th ANNIVERSARY
国際紙パルプ商事株式会社
KOKUSAI PULP&PAPER CO.,LTD.
上席執行役員 関西支店長 水木康雄
大阪市中央区安土町1－8－6
☎06（6271）2291番(代表)
http://www.kppc.co.jp/

HOKUETSU GROUP
北越紙販売株式会社
執行役員 大阪支店長 渡邉和則
大阪府吹田市南吹田4－20－1
☎06（7167）1250番(代表)
本社 東京都中央区日本橋本石町3-2-2
北越製紙ビルディング5F

OZAX
オザックス株式会社
代表取締役 会長兼社長 尾﨑豊弘
大阪市中央区北浜3－5－29
日本生命淀屋橋ビル13F
☎06（4980）2800番(代表)

SPPは
革新と挑戦の情熱を持って時代の変化に対応し
社会とともに成長します。
新生紙パルプ商事株式会社
上席執行役員 大阪支店長 彦坂知史
大阪市中央区南船場1－16－10
☎06（6262）8800番（代表）
本社 東京都千代田区神田錦町1の8

「創造への挑戦」
紙の新しい可能性を拓く日本紙通商
木とともに未来を拓く
日本製紙グループ
日本紙通商株式会社
取締役 関西支社長 安西信之
大阪市中央区備後町2-1-8（備後町野村ビル）
〒541-0051 ☎06－6222－3581(代表)